

キャリア教育 プログラム

Career Education Program



Career Deaf

大阪府立中央聴覚支援学校

進路サポート部

(R6. 2改定)

はじめに：本校のキャリア教育について

1 一貫教育におけるキャリア教育の定義

本校は、早期教育相談・幼稚部・小学部・中学部そして高等部・専攻科があり、乳幼児から青年期までの子どもたちが学ぶ聴覚支援学校であることから、保育・教育における一貫教育の充実化をめざしている。各部で、次の教育目標をもとに、それぞれの発達段階に応じて、教育活動を進めている。

「子どもたちの豊かな人間性・社会性の発達を願い、一人ひとりに応じた教育を行う。」

- (1) 障がいに対する認識を深め、たくましく生きる力を育てる。
- (2) コミュニケーション能力の伸長を図る。
- (3) 社会参加に必要な知識と技能の習熟を図り、社会的自立をめざす。
- (4) 人間尊重の精神と態度をはぐくむ。

この教育目標をふまえて、各部でキャリア教育を進めている。キャリア教育について、本校では次のように定義づけ、「キャリア教育プログラム」をもとに一貫教育の推進を図るものである。

幼児・児童・生徒たちが将来の自分を描き、将来に必要なスキルを身につけたり、考えたりする教育であり、各部の発達段階に応じて考え、実践すべき教育。

2 キャリア教育の実践にあたって

本校は、学習指導要領に基づいて、教育課程を編成している。幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる保育・教育を行うとともに、聴覚障がいのある幼児・児童・生徒が社会において自立できる力を身につけるために、「自立活動」という指導領域を特設している。また、聴覚障がいの他にも障がいがある子どもに関しては、その障がいの状態等に応じて、弾力的な教育課程を編成している。

キャリア教育の実践にあたっては、キャリア教育を単独の活動とせず、特別活動を要とし

つつ、各教科での特質に応じて充実を図る。日常の教育活動の中で育成する能力や技能、態度について、キャリア教育の視点もふまえて、教育活動を進めていくことをめざす。なおキャリア教育の視点から育成をめざす能力や技能、態度は、次の基礎的・汎用的能力に分けることとする。特に（５）の障がい認識に関しては、聴覚障がいのある幼児・児童・生徒が身につけるべき力である。

「基礎的・汎用的能力」については、以下の５領域６能力である。

（１）人間関係形成・社会形成能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。

（２）自己理解・自己管理能力

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。

（３）課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。

（４）キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

（５）障がい認識

自己の機能的障がいについて客観的に理解し、参加に困難が生じる活動を予測する。また、困難を軽減し、解決させるために周囲に働きかける力。

- ① 障がい理解 自分の障がいに気づき、多様な人間関係と生活体験を通じてその社会的意味を理解し、周囲に障がいについてわかりやすく説明しながら、理解と協力を呼びかけていく能力。
- ② 情報に関する知識 様々な情報保障の方法について知り、自分にとって最適かつ周囲にとって可能な保障方法を選択する能力。

また、本校独自の自立活動プログラムがあり、次の方針が明記されている。

本校では、聴覚に障がいのある幼児・児童・生徒が、たくましく生きる力と豊かな感性と言語力をもって社会的自立をめざす教育を進めている。自己の障がいをふまえ、地域・職場等多様な人間関係において理解を広げ、個々の可能性が発揮できるような人間性を育む教育に重点をおいている。

この方針は、上記の基礎的・汎用的能力にも関連しており、キャリア教育を進めていくにあたっては、「自立活動プログラム」とも連動させていくことが重要である。

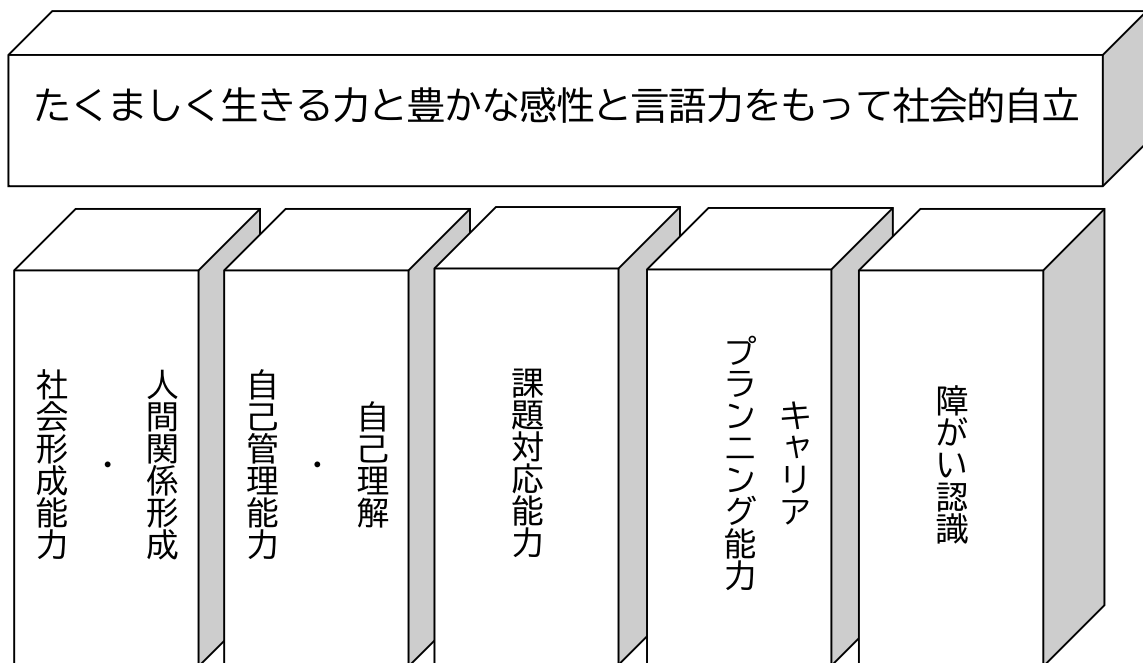


図 「基礎的・汎用的能力」と「自立活動プログラム」との連携

3 校内外の共通理解、連携体制

一貫教育におけるキャリア教育は、全校の教職員の共通理解のもとに、進められていくことが必要である。またキャリア教育とは、一人ひとりが成長、発達していく過程において、様々な経験や人との触れ合いが総合的にかかわってくるものである。本校では、子ども一人ひとりの個別の教育支援計画を作成しており、毎年年度初めに、保護者の願い、本人の希望、アセスメントなどを行って把握した実態に合わせて、長期目標、短期目標を設定している。そして年度末に、目標到達状況を担任、関係者、保護者とともに確認し、目標の見直しを行っている。これらの個別の教育支援計画も併せて、各部で一人ひとりの実態を把握し、進学にあたっては、次の学部を引き継いでいかねばならない。そこで各部間の情報共有、協力・連携の体制が不可欠となる。よって計画的、組織的、継続的な取り組みについて日常的に協議し、実施していく必要がある。

キャリア教育を進めていくにあたっては、関係機関や地域社会との連携も不可欠であり、学校全体として取り組んでいくべき課題である。

4 本プログラムについて

本プログラムでは、聴覚に障がいをもつ幼児・児童・生徒のキャリア教育の定義・目標を定めて、次に各部の年間計画と、幼稚部から高等部までのキャリア教育プログラム一覧表を掲載している。いずれも毎年、幼児・児童・生徒それぞれの実態、その年の状況に合わせ、弾力的に対応することが求められる。

なお、記述されているキャリア教育活動は、基礎的・汎用的能力のいずれかの要素が含まれているが、一つではなく複数の領域・能力にまたがっている教育活動もある。すなわち、キャリア教育はさまざまな領域・能力と関連しており、先述した「全教科・特別活動・自立活動等すべての教育活動全体を通して行う」に、つながっている。

毎年度末に、進路サポート部が見直し、次年度に向けて改定していく。

幼稚部キャリア教育年間計画

領域	3歳児	4歳児	5歳児
人間関係形成・社会形成能力	先生や友だちに親しみをもつ。	友だちと一緒に活動する楽しさを味わう。	友だち同士認め合い、一緒に活動する楽しさを味わう。
	先生や友だちの話を聞く。	友だちの話を聞き、分かろうとする。	友だちの思いを認めたり、自分の気持ちを伝えたりする。
	手話や指文字、文字、音声言語などのコミュニケーション手段を知る。	手話や指文字、文字、音声言語などのコミュニケーション手段を身に付ける。	手話や指文字、文字、音声言語などのコミュニケーション手段を使う。
	自分の経験や思いを身振りや言葉で表現する。	思ったことや考えたことを相手に伝えようとする。	自分の思いを伝えたり、分からないことを尋ねたりする。
	身近な人に簡単なあいさつをする。	身近な人にあいさつをする。	場面に応じたあいさつをする。
	良いこと悪いことがあることに気付く。	良いこと悪いことがあることに気付き考える。	良いこと悪いことがあることに気付き、考えて行動する。
	いろいろなきまりを知る。	きまりを守ろうとする。	決められた時間やきまりを守る。
	遊具や用具の使い方やルールを守って遊ぶ。	共同の遊具や用具をゆずりあって使おうとする。	共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う。
自己理解・自己管理能力	衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。	身のまわりを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。	身のまわりを清潔にし、自分たちの生活の場を整える。
	手洗い、うがい、歯磨きを通して、自分の体に関心をもつ。	自分の体に関心をもち、病気の予防に必要な活動を行う。	健康に関心をもち、病気を予防する態度を身に付ける。
	自分の好きなこと嫌なことが分かる。	生活の中で自分のやれること・やりたいことが分かるようになる。	新しいことに取り組む楽しさを味わう。
課題対応能力	行事などを通して、積み重ねることの楽しさを味わう。	行事などを通して、ひとつのことに取り組み、達成感を味わう。	行事などを通して最後までやり遂げる力を培う。
キャリアプランニング能力	駅・病院・お店など、生活に関係の深い施設を知る。	電車ごっこやお店屋さんごっこなどのごっこ遊びを通して、身近に働く人に興味・関心をもつ。	いろいろな仕事があることを知り、仕事に対する憧れの気持ちをもつ。
	自分のやりたいことを見つけて活動する。	自分のやりたいことを見つけて活動する楽しさを味わう。	自分のやりたいことを工夫してできるようにする。
	自分でできることは自分でする。	自分でできることは自分でする。	自分でできることは自分でする。
	当番活動の中で当番への憧れをもつ。	当番活動をすすんで行う。	当番の仕事や行事の司会を通して人の役に立つ喜びを知る。
障がい認識	補聴器を装用することに慣れる。	補聴器の必要性を知る。	補聴器の必要性を知る。
	電池調べなどを通して、補聴器に慣れる。	補聴器の管理を自分でしようとする。	補聴器の管理を自分でできるようになる。
		家族、先生、友だちなどの中にきこえる人々がいることを知る。	様々なコミュニケーション手段があることを知る。

小学部キャリア教育年間計画 (5 領域と各学年)

低学年

領域	1年	2年	3年
人間関係形成 社会形成能力	対面式 新入児歓迎会 遠足 地域校・居住地校交流	対面式 新入児歓迎会 遠足 地域校・居住地校交流	対面式 新入児歓迎会 遠足 地域校・居住地校交流
自己理解 自己管理能力	手話・日本語学習 自立活動 聴能学習 言語学習	手話・日本語学習 自立活動 聴能学習 言語学習	手話・日本語学習 自立活動 聴能学習 言語学習
課題対応能力	日直・係活動 運動会 学習発表会 6年生を送る会	日直・係活動 運動会 学習発表会 6年生を送る会 自力通学の練習	日直・係活動 運動会 学習発表会 6年生を送る会 自力通学
キャリア プランニング能力	社会見学 学校見学 通学路探検	社会見学 町探検	社会見学 校区探検
障がい認識	補聴器・人工内耳の装用、管理を自分で行う。		

高学年

領域	4年	5年	6年
人間関係形成 社会形成能力	対面式 新入児歓迎会 遠足 地域校・居住地校交流	対面式 新入児歓迎会 遠足 自然教室 地域校・居住地校交流 調理実習	対面式 新入児歓迎会 遠足 修学旅行 地域校・居住地校交流 お楽しみ会 調理実習(献立の立案) 裁縫学習(エプロン)
自己理解 自己管理能力	手話・日本語学習 自立活動 聴能学習 言語学習	手話・日本語学習 自立活動 聴能学習 言語学習	手話・日本語学習 自立活動 聴能学習 言語学習
課題対応能力	日直・係活動 委員会活動 運動会 学習発表会 6年生を送る会	日直・係活動 委員会活動 児童会活動 運動会 学習発表会 6年生を送る会	日直・係活動 委員会活動 児童会活動 運動会 学習発表会 6年生を送る会
キャリア プランニング能力	社会見学 地元に関わる仕事	社会見学 日本に関わる仕事	社会見学 行政のしくみ 中学部授業体験 入学説明会
障がい認識	補聴器・人工内耳が不調の時に人に適切に伝える。		

小学部キャリア教育年間計画

月	(左から 対象学年・実施内容・実施のねらい)	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・【1】対面式 ・【2】新入児歓迎会 ・【全】春の遠足 ・【4】地域校交流 ・【5・6】春の三校交流会 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 自己紹介をすることで、相手に自分のことを知ってもらう。 (目標) 新入生を歓迎し、交流を深める。 (目標) 自然や文化との関わりを通じて、豊かな人間性、社会性を育む。 (目標) 聴覚障がいのない児童と、様々な方法で対話をする。 (目標) 同じ障がいのある児童と関わり、理解を深める。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・【1】学校見学 ・【2】町たんけん ・【3】校区探検 ・【4】ごみの処理 ・【5】調理実習 ・【5】日本に関わる仕事 ・【6】調理実習(献立の立案) 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 学校で働く人々を知る。 (目標) いろいろな店や仕事を知る (目標) 自分の学校の周りに関心をもち、調べる。 (目標) 様々な職業を学習する。 (目標) 自分たちで役割を決めて調理実習を行う。 (目標) 様々な気候に合わせた産業があることを学習する。 (目標) 栄養バランスの良い献立を考え、調理する。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全】運動会 ・【全】地域校交流 ・【1】通学路探検 ・【2】社会見学 ・【4】社会見学 ・【5】米作り ・【6】裁縫学習 ・【5・6】地域校交流 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 先輩の取り組みを見て、自分の将来像を描く。 (目標) 聴覚障がいのない児童との交流を通して、コミュニケーション力を高める。 (目標) 通学路の安全について考える。 (目標) 郵便局の仕組みや働く人に関心をもち。 (目標) 浄水場の仕組みを知り、働く人に興味をもつ。 (目標) 米を育てることで米作りの大変さに気づく。 (目標) エプロン作りを通して、生活に役立つものを作る技術を身につける。 (目標) 地域の小学校との交流で、自分たちの学校を案内し、交流する。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・【5】米作り ・【5】自然教室(宿泊) ・【6】裁縫学習 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 米作りに関する仕事を学習する。 (目標) 友だちと役割を分担し、協力して取り組む。 (目標) エプロン作りを通して、ミシンの操作技術を身につける。
8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・【3】校区探検 ・【4】社会見学 ・【6】修学旅行に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 学校の周りを歩き、どのようなお店などがあるか分かる。 (目標) 警察の仕事を学習し、警察官と対話する。 (目標) 新聞作りの調べ学習など、友だち同士で役割を分担し、協力して取り組む。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・【1～3】秋の遠足 ・【4・5】秋の三校交流会 ・【6】修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 自然や文化との関わりを通じて、豊かな人間性、社会性を育む。 (目標) 同じ障がいのある児童と関わり、理解を深める。 (目標) 平和学習を通じて、戦争の悲惨さと平和の大切さを学ぶ。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全】学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 友だちと協力し、表現活動をとおしてコミュニケーション力を高める。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・【4】社会見学 ・【5】日本に関わる仕事 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 消防署の仕事について学習する。 (目標) 様々な仕事、またその環境について学習する。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・【2】社会見学 ・【4】地元に関わる仕事 ・【5】日本に関わる仕事 ・【6】行政のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 駅で困ったときにどうすれば良いか学ぶ。 (目標) 地域にかかわる仕事を学習する。 (目標) 林業や水産業について学習する。 (目標) 政治の仕組みを知り、世界の人々とともに生きることの大切さを自覚する。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・【2】通学路 ・【4】地元に関わる仕事 ・【5】日本に関わる仕事 ・【6】行政のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 通学で困ったときの方法を知る。 (目標) 地域にかかわる仕事を学習する。 (目標) 工業について学習する。 (目標) 政治の仕組みを知り、世界の人々とともに生きることの大切さを自覚する。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・【1～5】6年生を送る会 ・【6】6年生を送る会 ・【全】1年間を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 皆と協力して学年の発表を成功させる。 送る会の準備、進行を分担処理する。 6年生へのお祝いと感謝の気持ちを表現する。 先輩の取り組みを見て、自分の将来像を描く。 (目標) 小学部6年間を振り返る。様々な人への感謝を表す。卒業後の夢を描く。 (目標) これまでの自分の成長を振り返り、進学や進級への期待をもつ。
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・【全】係活動 ・【4～6】委員会活動 ・【4～6】児童会活動 ・【全】聴能学習 ・【全】発音学習 ・【全】言語学習 ・【全】キャリアパスポート 	<ul style="list-style-type: none"> (目標) 自主的に係活動を行い、自分の役割を果たす。 (目標) 自分たちでルールを決め、周知し、実行する力を身につける。 (目標) 全体行事の司会や、準備などのリーダー役を経験する。 (目標) 補聴器、人工内耳、自分の聞こえ方について学習する。 (目標) 日本語の音韻意識や正しい日本語を身につける。 (目標) 「読む」、「書く」、「きく」、「話す」を通じて、正しい日本語を身につける。 (目標)好きなことや得意なことを考え、将来に向けてのイメージをもつ。

中学部キャリア教育年間計画（5領域と各学年）

領域		中1	中2	中3
人間関係形成・ 社会形成能力		対面式 進路講話(外部講師) 校外学習 一泊移住 上町中交流 居住地校交流 ボランティア活動	対面式 進路講話(外部講師) 校外学習 上町中交流 居住地校交流 ボランティア活動	対面式 進路講話(外部講師) 校外学習 上町中交流 修学旅行 願書作成 面接練習 居住地校交流 ボランティア活動
自己理解・ 自己管理能力		生活指導講話 仕事について考えよう	生活指導講話 職場体験の事前学習 職場体験の反省 行きたい高校について 薬物乱用防止	生活指導講話 願書・志望理由書作成 志望校選択
課題対応能力		委員会(係)活動 運動会 文化祭	委員会(係)活動 運動会 文化祭	委員会(係)活動 運動会 文化祭 三者面談 志望校(希望進路)決定
キャリア プランニング能力		進路説明会(校内教員) 高等部体験 生徒会選挙 駅員体験 生徒面談	進路説明会(校内教員) 高等部体験 生徒会選挙 職場体験 生徒面談	進路学習会(校内教員) 高等部体験 生徒会選挙 高等学校見学・体験 生徒面談
障 が い 認 識	(1)障がい理解 (2)情報に関する 知識	進路講話(外部講師) 上町中交流 駅員体験	進路講話(外部講師) 上町中交流 職場体験	進路講話(外部講師) 上町中交流 面接練習
		(自立活動プログラムを参照)		

中学部キャリア教育年間計画

月	1～3年 ----- (左から 対象学年・実施内容・実施のねらい)
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】生活指導講話 (目的) 学校生活を安全に過ごす、携帯電話の使い方について考える(境界線、携帯講習会)。 ・【全体】対面式 (目的) 中学部内での人間関係を円滑に築くようにする。 ・【1・2年】個人面談 (目的) 学習を積み重ねと将来の自分を考える。(チャレンジテスト・5段階評定など) ・【3年】個人面談 (目的) 受験生としての過ごし方を意識する。(受験・受検までのスケジュールについて)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】校外学習 (目的) 学年を超え、互いを思いやりながら過ごす。 ・【3年】三者面談 (目的) 高校受験・進路について保護者の方と考え、進路の決定を進める。 ★備考★ 学校によっては、5月～学校説明会あり。(目的) 参加を通して、将来について考える機会とする。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・【3年】修学旅行事前指導 (目的) 目的や計画について学習する。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】生活指導・進路講話 (目的) 夏休みの過ごし方について、大阪府青少年健全育成条例などを聞き、考える。(外出時、自宅でのルール設定など) ・【1年】一泊移住 (目的) 多様な集団の中で、コミュニケーションやマナーについて考える。 ・【2年】職場体験の事前学習 (目的) 勤労態度と心構えについて学習する。 ・【3年】修学旅行 (目的) 互いを思いやりながら、時間や場所を意識した行動をし、過ごす。 ・【3年】三者面談 (目的) 進路の決定を進めるとともに、現段階での希望先に向けて、今後の流れを確認する。 ・【全体】高等部体験 (目的) 高等部の体験入学で、自分の進路について考える。 ★備考★ 大阪府公立高校 合同学校説明会(インテックス大阪)など、この時期から合同説明会が増える。(目的) 参加を通して、将来について考える機会とする。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】進路講話 (目的) 外部講師を招き、講演。将来について考える機会とする。 ・【全体】高校見学・体験授業 (目的) 希望に合わせて見学・体験をし、自分の進路について考える。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】運動会 (目的) 自身の役割を意識し、取り組む。 ・【3年】三者面談 (目的) 進路の決定を進め、今後の流れを把握しておく。 ・【全体】生徒会選挙 (目的) 自身および学校の未来像を描き、学校の一員として活動に参加する。 ★備考★ 文化祭の準備、この時期から開始。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・【1年】駅員体験 (目的) 仕事・働くについて、考える。 ・【2年】職場体験の実施 (目的) 実際に職場体験を行うことで、職業観を学ぶ。 ・【2年】職場体験の反省・お礼 (目的) 職場体験を通して、社会に出る上での課題などについて考える。実習後のお礼文、挨拶などを通して感謝の気持ちを表現する。 ★備考★ 文化祭の準備、本格化。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】文化祭 (目的) 1年：<展示>友だちと協力、役割を分担し、計画を立て、目標に向かって取り組む。2年：<展示>計画を立て、目標に向かって取り組む。職場体験の経験を活かす。3年：<舞台発表>計画を立て、目標に向かって取り組む。コミュニケーションを意識し、相手に伝わるような表現で行う。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】生活指導・進路講話 (目的) 冬休みの過ごし方、お金の使い方(お年玉の管理) ・【全体】上町中交流 (目的) 1年：交流を通して同年代の生徒とのコミュニケーションを図る。2年：活動を中心に進め、同年代の生徒とのコミュニケーションを円滑に図る。3年：障がいについて、相手に説明できる。 ・【3年】三者面談 (目的) 進路の決定を進める。 ・【3年】面接練習 (目的) マナー面など相手の視点に立ち、考え、面接対策を行う。 ★備考★ 他都道府県支援学校、私学受験の願書作成開始
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・【1年】仕事について考えよう (目的) 将来の夢を考え、なりたい職業について調べる。 ・【2年】行きたい高校を考えよう (目的) 進路(志望校)について考える。 ・【3年】願書・志望理由書作成・願書提出 (目的) 適切な書き方で、書類を作成する。適切な身なり・行動をとる。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・【3年】面接練習 (目的) 面接時の受け答えの方法やマナー等について確認する。 ・【2年】薬物乱用防止 (目的) 薬物の身体に悪影響を与えることを知り、自身で身体を守り、過ごせるようにする。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・【2年】三者懇談 (目的) 進路(志望高校)に向けて、具体的に計画を立てる。 ・【全体】生活指導 (目的) 春休みの過ごし方、次の目標について考える。
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・【全体】委員会(係)活動 生徒会 (目的) 自身の役割を意識し、取り組む。 ・【全体】キャリア・パスポート (目的) 自身の行動を振り返り、自身のなりたい将来像に向けて考える。 ・【全体】補習授業 (目的) 自身で目標を立て、学力の向上を図る。 ・【全体】自立活動 (目的) 「障がい認識」「聴覚学習」「書記日本語」「手話」について取り組む。将来に向けて福祉制度について考える。 ・【全体】中学部朝礼 (目的) 責任を持って自身の役割に取り組む。自身の発表や相手の話を傾聴する姿勢など、その場に応じた行動をとる。 ・【全体】テスト関係 (目的) 結果から、できたこと、課題を把握し、解決していくための力を身につける。 ・【全体】個人面談(年4回) (目的) 将来について考える、困りごとがあれば伝える、学期・行事の振り返りを行う。 ・【全体】近畿大会(年3回) (目的) 体育的活動を通して近畿地区の賢学校との交流を深める。

高等部キャリア教育年間計画 5 領域 (本科)

	学習活動	内容
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・手話①②③④ ・要約筆記 ・筆談練習 ・ビジネスマナー①② ・現場実習に向けて(基本マナー) ・面接対策①② ・救急救命講習 ・冠婚葬祭 ・敬語の使い方 ・食事のマナー ・手話での発表会⇒実習の報告会 ・金銭のトラブル⇒生徒指導講話 	<p>社会に必要な手話についての学習 社会に出て必要な要約筆記技術について学習する 社会に出て必要な筆談技術の学習</p> <p>社会に出て必要なマナーの学習</p> <p>面接の方法について学習する 人命救助の方法 社会に出て必要な冠婚葬祭のマナーについての学習 社会に出て必要な敬語の使い方についての学習 食事のマナーについての学習 1年間の学校生活を振り返り手話で発表する 様々なお金にまつわるトラブルについての学習</p>
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・職業適性検査 ・職業適性検査の考察 ・レディネステスト ・レディネステストの結果考察 ・生活指導講演会⇒生活指導講話 	<p>自分の職業適性を理解する 職業に関する自分の興味関心を理解する 携帯電話等のマナー、お金にまつわるトラブルについての学習</p>
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・校内 SPI テスト ・夏期講習 ・給与明細の見方 ・進路に向けて ・非常時、災害時について⇒防災について ・社会に出る準備 	<p>就職試験等の学習 大学等進学に必要な実践力を身につける 給与明細の見方についての学習 自分の将来の仕事について学習する 火災や地震などの緊急時の対応方法の学習 社会に出るときに必要な心構え、準備などの学習</p>
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス ・進路計画 ・時事ニュース ・内田クレパリン検査 ・進路講演会 ・情報社会 ・求人票の見方 ・願書・履歴書の書き方①② ・ハローワーク見学 ・職業適性検査 ・職業適性検査の考察 ・現場実習に向けて(社会常識と企業組織) (実習先について) ・現場実習①② ・大学見学(オープンキャンパス) ・職業レディネステスト ・職業レディネステストの結果考察 ・詐欺対策 ・雇用形態と労働条件①② ・進路見学会 ・先輩ろう者を囲む会 ・食の安全 ・SPI基礎テスト ・職業訓練センター実習⇒キャリア教育センター実習 	<p>3年間の進路指導の予定について 進路決定のための年間予定の立案 社会の出来事に関心を持つ 職業適性の理解 社会に出て必要な知識の学習 情報科社会に向けて様々な情報技術の学習 求人票の見方の学習 入学願書や履歴書の書き方の学習 ハローワークの見学 自分の職業適性を理解する 社会に出て必要な会社組織の学習 実習先の企業について調査する 実際に企業で職業を体験する 希望者による大学見学(オープンキャンパス)参加</p> <p>職業に関する自分の興味関心を理解する</p> <p>社会で起こっている詐欺などの事件について理解する 一般的な会社の雇用形態と労働条件について学習する 卒業生が働いている職場等を見学する 社会で活躍している卒業生の話聞く 食の安全やマナーについての学習 就職試験等で使用されるSPIテストを理解する 様々な職業体験を行う</p>
障がい認識	<ul style="list-style-type: none"> ・聞こえの仕組み ・補聴器の管理 ・日常生活と福祉制度 ・障がい認識①② ・聴覚障がい者の歴史 ・人工内耳 ・卒業後の相談①② ・情報保障 	<p>聞こえの仕組みについての学習 補聴器の取り扱いや管理方法 社会に出てから必要な福祉制度の学習 自分自身の障がいについて理解する 聴覚障がい者の歴史について学習する 人工内耳について学習する 大阪ろうあ会館等福祉関連機関訪問 自分に必要なサポートを知る</p>

高等部キャリア教育年間計画（本科）

月	1年		2年		3年	
	学習活動	内容	学習活動	内容	学習活動	内容
4月	進路ガイダンス 手話①	3年間の進路指導の予定について 社会で必要な手話についての学習	情報保障 時事ニュース	自分に必要なサポートを知る 社会の出来事に関心を持つ	進路計画 願書・履歴書の書き方① 内田クレバリン検査	進路決定のための年間予定の立案 入学願書や履歴書の書き方の学習 職業適性の理解
5月	手話② 進路講演会 聞こえの仕組み	社会で必要な手話についての学習 社会に出て必要な知識の学習 聞こえの仕組みについての学習	情報社会 進路講演会 筆談練習	情報化社会に向けて様々な情報技術の学習 社会に出て必要な知識の学習 社会に出て必要な筆談技術の学習	求人票の見方 進路講演会 ビジネスマナー①	求人票の見方の学習 社会に出て必要な知識の学習 社会に出て必要なマナーの学習
6月	手話③ 補聴器の管理 時事ニュース 校内 SPI テスト	社会で必要な手話についての学習 補聴器の取り扱いや管理方法 社会の出来事に関心を持つ 就職試験等の学習	現場実習に向けて(基本マナー) 現場実習に向けて(社会常識と企業組織) 現場実習に向けて(実習先について) 職業適性検査 校内 SPI テスト	社会に出て必要な社会マナーの学習 社会に出て必要な会社組織の学習 実習先の企業について調査する 自分の職業適性を理解する 就職試験等の学習	ハローワーク見学 校内 SPI テスト 面接対策① 時事ニュース① SPI 基礎テスト 面接対策②	ハローワークを見学する 就職試験等の学習 面接の方法について学習する 社会の出来事に関心を持つ 就職試験で使用される SPI テストを理解する 面接の方法について学習する
7月	救急救命講習	人命救助の方法	職業適性検査の考察 現場実習①	自分の職業適性を理解する 実際に企業で職業を体験する	時事ニュース② 現場実習①	社会の出来事に関心を持つ 実際に企業で職業を体験する
8月	夏期講習 日常生活と福祉制度	大学等進学に必要な実践力を身につける 社会に出てから必要な福祉制度の学習	現場実習② 夏期講習 大学見学	実際に企業で職業を体験する 大学等進学に必要な実践力を身につける 希望者による大学見学	現場実習② 夏期講習 願書・履歴書の書き方②	実際に企業で職業を体験する 大学等進学に必要な実践力を身につける 入学願書や履歴書の書き方の学習
9月	手話④	社会で必要な手話について学習する	手話①	社会で必要な手話について学習する	面接対策③	面接の方法について学習する

10月	職業レディネス テスト 生徒指導講演会 時事ニュース 障がい認識①	職業に関する自分の興味 関心を理解する 携帯電話等のマナー学習 社会の出来事に関心を持 つ 自分自身の障がいについ て理解する	手話② 手話③ 生徒指導講演会 詐欺対策	社会に必要な手話について 学習する 社会に必要な手話について 学習する 携帯電話等のマナー学習 社会で起こっている詐欺な どの事件について理解する	面接対策④ 筆談練習 生徒指導講演会 給与明細の見方	面接の方法について学習 する 社会に出て必要な筆談技 術の学習 携帯電話等のマナー学習 給与明細の見方について の学習
11月	障がい認識② 職業レディネス テストの結果考 察 手話⑤	自分自身の障がいについ て理解する 職業に関する自分の興味 関心を理解する 社会に必要な手話につい て学習する	雇用形態と労働 条件① 雇用形態と労働 条件②	一般的な会社の雇用形態と 労働条件について学習する 一般的な会社の雇用形態と 労働条件について学習する	冠婚葬祭 敬語の使い方 ビジネスマナー②	社会に出て必要な冠婚葬 祭のマナーについての学 習 社会に出て必要な敬語の 使い方についての学習 社会に出て必要なマナー の学習
12月	聴覚障がい者の 歴史 進路に向けて	聴覚障がい者の歴史につ いて学習する 自分の将来の仕事につい て学習する	障がい認識	自分自身の障がいについて 理解する	人工内耳 食事のマナー	人工内耳について学習す る 食事のマナーについての 学習
1月	日常生活と福祉 制度 校内 SPI テスト	社会に出てから必要な福 祉制度の学習 就職試験等の学習	防災について 校内 SPI テスト	火災や地震などの緊急時の 対応方法の学習 就職試験等の学習	願書・履歴書の書 き方③	入学願書や履歴書の書き 方の学習
2月	キャリア教育支 援センター実習 障がいについて 先輩ろう者を囲 む会 進路見学会	様々な職業体験を行う 聴覚障がい以外の障がい について学習する 社会で活躍している卒業 生の話を聞く 卒業生が働いている職場 等を見学する	食の安全 先輩ろう者を囲 む会 金銭のトラブル 進路見学会 面接対策①	食の安全やマナーについて の学習 社会で活躍している卒業生 の話を聞く 様々なお金にまつわるトラブ ルについての学習 卒業生が働いている職場等 を見学する 面接の方法について学習す る	社会に出る準備 卒業後の相談① 卒業後の相談② 先輩ろう者を囲 む会	社会に出るときに必要な 心構え、準備などの学習 大阪ろうあ会館訪問 福祉関連機関訪問 社会で活躍している卒業 生の話を聞く
3月	手話での発表会 ⇒実習の報告会	1年間の学校生活を振り返 り手話で発表する	面接対策②	自分の長所・短所を分析し、 アピールポイントを見つける		

高等部キャリア教育年間計画 5 領域（専攻科）

	学習活動	内容
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション ・手話① ・筆談練習 ・ビジネスマナー① ・現場実習に向けて(基本マナー) ・面接対策① ・安全緊急マニュアル ・冠婚葬祭 ・敬語の使い方 ・食事のマナー ・手話での発表会 ・マナー①② ・日本の文化について 	<p>社会に必要なコミュニケーション能力を高める 社会に必要な手話についての学習 社会に出て必要な筆談技術の学習 社会に出て必要なマナーの学習 面接の方法について学習する 社会人としての危機管理の学習 社会に出て必要な冠婚葬祭のマナーについての学習 社会に出て必要な敬語の使い方についての学習 食事のマナーについての学習 1年間の学校生活を振り返り手話で発表する 社会に必要なマナーについての学習 日本の文化について知る</p>
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導講演会⇒生徒指導講話 	<p>携帯電話等のマナー学習</p>
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・校内 SPI テスト ・社会に出る準備 	<p>就職試験等の学習 社会に出るときに必要な心構え, 準備などの学習</p>
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス ・進路計画 ・時事ニュース ・進路講演会 ・求人票の見方 ・願書・履歴書の書き方①② ・ハローワーク見学 ・職業適性検査 ・職業適性検査の考察 ・現場実習に向けて(社会常識と企業組織) (実習先について) ・現場実習①② ・専門学校見学(オープンキャンパス) ・夏期講習 ・一人暮らしの知識 ・進路見学会・会社見学 ・先輩ろう者を囲む会 ・食の安全 ・SPI基礎テスト ・公共施設の利用方法 ・公共施設について 	<p>2年間の進路指導の予定について 進路決定のための年間予定の立案 社会の出来事に関心を持つ 社会に出て必要な知識の学習 求人票の見方の学習 入学願書や履歴書の書き方の学習 ハローワークの見学 自分の職業適性を理解する 社会に出て必要な会社組織の学習 実習先の企業について調査する 実際に企業で職業を体験する 希望者による学校見学 公務員試験等に必要実践力 将来の一人暮らしに必要なことについて 卒業生が働いている職場等を見学する 社会で活躍している卒業生の話を聞く 食の安全やマナーについての学習 就職試験等で使用されるSPIテストを理解する 公共施設の利用方法についての学習 社会に出てから役に立つ施設の学習</p>
障がい認識	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉制度 ・人工内耳 ・卒業後の相談①② 	<p>障がい者が利用できる福祉制度の学習 人工内耳について学習する 大阪ろうあ会館等福祉関連機関の訪問</p>

高等部キャリア教育年間計画(専攻科)

月	1年		2年	
	学習活動	内容	学習活動	内容
4月	進路ガイダンス コミュニケーション	2年間の進路指導の予定について 社会で必要なコミュニケーション能力を 高める	進路計画 願書・履歴書の書き方①	進路決定のための年間予定の立案 入学願書や履歴書の書き方の学習
5月	コミュニケーション 進路講演会	社会で必要なコミュニケーション能力を 高める 社会に出て必要な知識の学習	求人票の見方 進路講演会 ビジネスマナー①	求人票の見方の学習 社会に出て必要な知識の学習 社会に出て必要なマナーの学習
6月	現場実習に向けて (基本マナー) 現場実習に向けて (社会常識と企業組織) 現場実習に向けて (実習先について) 校内 SPI テスト	社会に出て必要な社会マナーの学習 社会に出て必要な会社組織の学習 実習先の企業について調査する 就職試験等の学習	ハローワーク見学 校内 SPI テスト 面接対策① 時事ニュース① SPI 基礎テスト 面接対策②	ハローワークを見学する 就職試験等の学習 面接の方法について学習する 社会の出来事に関心を持つ 就職試験等で使用される SPI テストを理解する 面接の方法について学習する
7月	職業適性検査の考察 現場実習①	自分の職業適性を理解する 実際に企業で職業を体験する	時事ニュース② 現場実習①	社会の出来事に関心を持つ 実際に企業で職業を体験する
8月	公共施設について 会社見学 専門学校見学 夏期講習	社会に出てから役に立つ施設の学習 障がい者が働く企業を見学する 希望者による専門学校見学 進路実現に向けた実践力の育成	現場実習② 夏期講習 願書・履歴書の書き方②	実際に企業で職業を体験する 進路実現に向けた実践力の育成 入学願書や履歴書の書き方の学習
9月	マナー①	社会で必要なマナーについての学習	面接対策③	面接の方法について学習する
10月	生徒指導講話 日本の文化について	携帯電話等のマナー学習 日本の文化、伝統について理解する	面接対策④ 筆談練習 生徒指導講話 給与明細の見方	面接の方法について学習する 社会に出て必要な筆談技術の学習 携帯電話等のマナー学習 給与明細の見方についての学習
11月	手話① マナー② 公共施設の利用方法	社会で必要な手話について学習する 社会で必要なマナーについての学習 公共施設の利用方法についての学習	冠婚葬祭 敬語の使い方 ビジネスマナー②	社会に出て必要な冠婚葬祭のマナーについての学習 社会に出て必要な敬語の使い方についての学習 社会に出て必要なマナーの学習
12月	一人暮らしの知識 安全緊急マニュアル	将来の一人暮らしに必要なことについて 社会人としての危機管理の学習	人工内耳 食事のマナー	人工内耳について学習する 食事のマナーについて
1月	福祉制度 校内 SPI テスト	障がい者が利用できる福祉制度の学習 就職試験等の学習	願書・履歴書の書き方③ 校内 SPI テスト	入学願書や履歴書の書き方の学習 就職試験等の学習
2月	現場実習 先輩ろう者を囲む会 進路見学会	実際に企業で職業を体験する 社会で活躍している先輩ろう者の話を聞 く 卒業生が働いている職場等を見学する	社会に出る準備 卒業後の相談① 卒業後の相談② 先輩ろう者を囲む会	社会に出るときに必要な心構え、準備などの学習 大阪ろうあ会館訪問 福祉関連会社訪問 社会で活躍している卒業生の話聞く
3月	手話での発表会	1年間の学校生活を振り返り手話で発表 する		

寄宿舎キャリア教育年間計画

	寄宿舎教育の視点	具体的取り組み
人間関係形成・社会形成能力	自他の理解 ・自治会や小集団での班活動や部屋会、クラブなど異年齢集団で過ごす時間の中で、相手の立場や行動、気持ちの在り方を考え受けとめる経験を積ませる。 ・悩みや思いを共有できる仲間を求める気持ちを育む。	◆月1回の自治会 役員会で役割分担、準備活動。 ◆クラブ活動（月1～2回） たつの子(太鼓)、ゲームなど。 ◆集団の活動 全学年合同のベストアミーゴで自己実現活動。 ◆部屋会（男子会・女子会） 友だちとのトラブルの解決。 恋話・家族・進路・障がいなど悩みの交流。 ◆生と性に関する教育を学期に1回設定し、知識を深める。 ◆行事の計画・実行 歓迎会（5月） 夏のつどい(7月) お楽しみ会(12月) 卒業を祝う会(2月) ◆誕生会・夕食会・季節行事
	コミュニケーション力 ・日常のあいさつ、感謝や謝罪の言葉、依頼や否認の言葉など様々な場面の応じたりとりが出来るよう、生活体験を積ませる。 ・自分の意見や考えと他者の意見に折り合いをつけ、人間関係を結ぶ力を身につけさせる。	
自己理解・自己管理能力	自己の理解 ・自分の長所や短所を認めるとともに「できること」や役割を担える力を養う。 ・自分の体調の変化に気づき、対処ができる力を養う。 ・衣類や持ち物など、季節や環境、TP0 にあったものを選択できる力を育てる。 ・金銭感覚を養い、自他の所有物の管理できる力を育てる。	
	社会的役割の把握・認識 ・買い物・洗濯・掃除・調理など、社会生活に必要なものの成り立ちを把握し、必要な技術を身につける機会を増やす。	
課題対応能力	課題解決 ・自己の生活や特性を知り、適性や目標にあった課題を見つけさせる。 ・自分の役割や課題に向き合い、必要な事に取り組む力を育てる。 ・学習習慣を生活の中に確立させる。 ・困難に直面したときの対処の仕方、助けを求められる力を養う。	◆毎日の身の周りの掃除・洗濯 衣服の整理・入れ替え。 ◆当番活動 部屋・トイレ・風呂の掃除など。 ◆買い物 日用品・おやつの買い物体験、ウインドショッピング。 ◆調理・手作りおやつ ◆毎日の朝礼 挨拶、身近なニュース、社会的な事象の理解、身近な経験、友だちとの交流。 ◆自由時間の遊び トランプ・オセロ・ジェンガ・将棋・ボードゲーム・手作り工作、ごっこ遊び・鬼ごっこ・サッカーなど。 ◆散歩・散策 公園・神社・大阪城・NHK など。 ◆自治会や朝礼の場での意見表明 ◆卒業生（同じ障がいのある先輩）との交流の場、卒業生へのアフターケア ◆大阪府立福祉情報コミュニティーセンターの活用（ビデオライブラリー、DVDなど既存の情報利用）。 ◆図書への貸し出し、本などの読み聞かせ。 ◆過去の行事 DVD などの視聴。 ◆テレビ・DVDの視聴 ニュース・ドラマ・バラエティ・音楽など様々な番組等での情報収集。 ◆パソコンの使用、インターネットでの検索 ◆自治会などでの視覚情報としてスライドの活用。
	計画実行力 ・日常生活の成り立ちや社会生活との関連性がわかり、両立できる力を養う。 ・物事をすすめるための段取りや準備活動をすすめる経験を積ませる。	
キャリアアップランニング能力	情報収集・探索 ・TV や新聞等の情報に関心を寄せ、必要な情報を選択できる力を養う。 ・PC やスマホ等の情報機器の使い方やマナーを知り、判断できる力を育てる。 ・社会的な慣習や文化を理解し、歴史や伝統を体感させる。	
	選択能力 ・集団の中で自分の意思を伝え、他者に対して拒否や賛同の意を表明できる力を育てる。 ・自己肯定感を高め、仲間や大人とのコミュニケーションの中で自己決定できる力を育てる。	
	職業理解 ・様々な職業や社会的労働のありかた、集団や家族の役割について理解し、その一員として行動する力を養う。 ・社会人としてのルールやマナーを知り、尊重できる知性や態度を身につけさせる。	
障がい認識	障がい認識 ・自己の障がいについて、他者に語る事ができるようにさせる。 ・自分以外の障がいについてサポートの仕方を理解させる。	
	情報保障に関する知識 ・自己の障がいについての理解と他者との支援のやりかたができる力を養う。 ・障がいから派生する不自由さや困難さを軽減するための努力、補助具の管理ができる力を養う。 ・共に助け支え合える仲間を求め、一緒に活動する価値を学ばせる。 ・権利としての情報保障の実現のための道筋を理解させる。	

キャリア教育プログラム 一覧表

領域 能力	観点	幼稚部	小学部		中学部	高等部
			低学年	高学年		
人間関係能力 ・ 社会形成能力	人とのかかわり	教員や友だちとかかわる中で、親しみや安心を感じる。	同じクラスや学年の友だちと仲良く遊び、助け合う。	他学年の友だちと交流する中で、下学年を意識して行動する。	職場体験や居住地校交流、他校との交流などを通して様々な人と交流する。	新たな関係を構築し、良好な関係を保つ。
	集団参加・協力・協働	気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。	クラスやグループ活動に参加し、協力する。	異年齢集団の活動に参加し、役割を果たす。	相手の立場に寄り添う。	相手の立場を考え、協力的に行動する。
	意思表示	自分の気持ちを表現する。	様々なコミュニケーション方法で相手に気持ちを伝える。	相手の言いたいことや気持ちを考えて、自分の考えを伝える。	相手に伝わるようなコミュニケーションの方法を選択できるようになる。	手話や筆談を正しく用いて、相手に伝わりやすいコミュニケーションを心がける。
	あいさつ	身近な人に簡単なあいさつをする。	友だちや教員にあいさつをする。	学校の訪問者や他学部の教員にあいさつをする。	場面に応じて適切なあいさつをする。	初対面の人に対しても、自ら進んであいさつをする。
	清潔 ・ 身だしなみ	自分で服を着替える。	手洗いや歯磨きなどの習慣を身につける。	自分自身だけでなく、身の回りも清潔にする。	身だしなみに注意を払い、身のまわりの環境を整える。	場に応じた身だしなみを自ら考えて、装うことができる。
	きまり	いろいろな決まりを知る。	時間や生活の決まりを守ろうとする。	自分たちで決まりを作り、守って行動する。	皆がより良く過ごすための方法を考え、実行する。	生活の質を向上させるため、きまりの意義を考え日常生活で実践する。
	場に応じた行動	家族以外の人と接する経験をする。	相手や場面に合わせた受け答えや挨拶があることを知る。	目上の人に適切な方法で話したり、態度をとったりする。	相手や場面に応じ、適切な話し方・態度をとる。	場に応じた行動や言葉遣いを主体的に考える。
自己理解 ・ 他者理解	自分の気持ちを伝えたり、友だちの思いを認めたりする。	自分の良いところを見つけるとともに、友だちの良いところもを見つける。	自分と友だちの短所・長所を知り、認めあう。	自分と他者の違いを知り、受容し、自分も他者も大切にする。	自分の長所と短所を把握し、相手の考えや気持ちを受けとめようとする。	

自己理解	金銭の扱い方	お買い物ごっこで遊ぶ。	お金の数え方を知る。	お金の使い方を考える。	計画的に買い物ができる。	消費生活の安定と向上を考え、生活設計を立てる。
自己管理能力	自己選択	自分の好きなこと、嫌いなことがわかる。	自分がしたいことを考え、選択する。	自分がしたいことを考え、善悪を押し量ることができる。	「やりたいこと」と「やるべきこと」を区別し、優先順位を決定し行動する。	自分の興味関心を理解し、進路決定に結び付けていく。
	健康な体	手洗い、うがい、歯磨きを通して、自分の身体に関心をもつ。	体を動かしたり、規則正しい生活を送ったりするなど、健康に過ごす意識をもつ。	自分から健康を意識した行動ができる。	自分の身体の変化について正しく知り、健康に過ごす方法を考えて実行する。	自分の体について理解し、自己管理ができるようになる。
課題対応能力	目標設定	自分なりの目標をもって取り組もうとする。	自分で達成できる目標を設定し、取り組む。	よりよい生活や進路をイメージして目標を決める。	なりたい自分をイメージし、目標を設定する。	進路決定のための年間予定を策定する力を養う。
	決定責任	好きな遊びを見つけて遊ぶ。	自分の希望する係活動を選択し、最後まで取り組もうとする。	自分で決めたことに責任をもち、最後まで取り組もうとする。	周囲も意識しながら、最後まで取り組み、取り組んだ内容を振り返る。	自分で決定したことに対し、責任をもち、やり遂げる。
	ふり返り ・ 肯定的な 自己評価	思ったことや考えたことを相手に伝える。	活動後に頑張ったことや楽しかったことを発表する。	活動後のふり返りで、良いところだけでなく、改善点にも注目し、次回の活動に生かそうとする。	結果に対して、次に生かすように工夫（計画）するとともに、達成できたことを肯定的に評価する。	活動後に自身で振り返り、改善を加えながら行動できる。
	自己調整	友だちと一緒に活動する楽しさを知る。	友だちと意見が合わない時の解決方法を知る。	友だちと意見が合わない時の解決方法を自分たちで考えることができる。	周囲の状況を観察し、自分ができることを考えて行動する。	周囲の状況を理解し、自分の行動を振り返る。
キャリアプランニング能力	習慣形成	自分でできることは自分でする。	自分でできることを増やす。	身の回りのことを自分で行う。	自分ですべきことを、他者の働きかけがある前に行う。	目標設定を行い、自分で取り組む習慣をつける。
	役割・はたらくよろこび	当番活動などを進んでしようとする。	係活動を行い、自分の役割を果たす。	自主的・自発的に係活動、委員会活動を進め、仕事を分担する。	自分の役割を意識し、集団活動を行うことができる。	職場実習を通して、はたらくよろこびと意味を知る。

キャリアプランニング能力	やりがい	当番の仕事や行事の司会を通して、人の役に立つ喜びを知る。	自分の役割を果たし、周りから認められることに喜びを感じる。	計画・実行・振り返りをして自分の役割に責任を持ち、周りから認められることに喜びを感じる。	決められた役割だけでなく、自分で決めたテスト計画などの計画・実行・振り返りを行い、達成感を得る。	自分で決めたことに対し、計画・実行・振り返りを行い、最後まで取り組めるようになる。
	夢や希望 ・ 進路計画	電車ごっこやお店屋さんごっこなどのごっこ遊びを通して、身近に働く人に興味・関心をもつ。	町探検や社会見学をとおして、地域で働く人に興味・関心をもつ。	教科学習や調べ学習をとおして、職業や仕事への関心・意欲をもち、将来の夢を思い描く。	職場体験などを通じて「働く」ことを経験し、様々なロールモデルに出会うことで進路について考える。	進路実現に向け、見通しをもって計画し、具体的に行動していく。
障がい認識	情報活用 (情報・聴覚)	補聴器・人工内耳を安定して装用できるようになる。	補聴器・人工内耳を活用できる場面や、活用しにくい場面があることを知る。	自分のきこえ方の特徴（得意・不得意な音）を知り、自分のきこえ方に合った代替手段（UDトークなど）があることを知る。	自分の障がいを他者に正しく伝える。	自分の障がいを他者に正しく伝え、情報保障を共に構築していく。
	情報活用 (手話)	生活の中で簡単な手話や指文字を使う。	いろいろな手話表現を知る。	文脈に応じて、適切な手話を表せる。	手話について説明することができる。	手話について、他者に教えられるようになる。
	情報活用 (日本語)	絵本や絵日記などを通して、いろいろなことばにふれる。	簡単な文章や日記を書き、気持ちを表現する。	場面に応じた言葉を学び、文章力を高める。	正しい日本語や敬語表現を身につけ、コミュニケーション力を高める。	言葉がもつ曖昧性や、意味の深さを知る。
	社会資源の活用	見てわかる標識やマークに関心をもつ。	教員や保護者と一緒に公共施設や交通機関を利用する。	身近な公共施設や交通機関を利用するとともに、どういった理由で作られたのかを考える。	様々な福祉制度があることを知る。	社会に出てから自分にとって必要な福祉制度について具体的に学んでいく。